



今、福島で起こっていること

# 放射能ゴミ焼却炉建設に 反対して下さい！

福島第一原発から二〇

キロ程、田村市都路町と

川内村の境に東京電力南

いわき開閉所という施設

があります。国はこの敷

地内に仮設焼却炉を造ろ

うとしています。地元の

人は大反対！なのに事前

調査を始めました。住民

は共に反対の声をあげて

欲しいと訴えています。

以下「放射能ゴミ償却

を考える都路・川内の会」

の呼びかけ文より。

●どのような焼却炉を造  
ろうとしているのか

一日の処理能力が四〇

〇トンという大型です。

燃やすのは、県中、県南、

いわき、会津から運ばれ

る稲わら、牧草、堆肥、

下水汚泥などで、既設の

焼却炉では燃やせない放

射能に汚染されたゴミで

す。

●どのような危険がある  
のか

環境省は焼却炉にはバ

グフィルター（袋状の集

塵装置）がついていて放

射性物質を吸着した灰を

取り除くから大気を汚染

することはないと行って

います。しかし、バグフィ

ルターは灰を完全に取り

除くことはできず、気化

した放射性物質はバグフィ

ルターをすり抜けてしま

います。また一昨年六月

六日には新潟市の焼却炉

でバグフィルターに穴が

開き、高濃度の煤塵が放

出された事故も起きてい

ます。

●放射能ゴミを運んだ  
トラックが走る

四〇〇トンのゴミを運

ぶため、十トントラック

が毎日五〇台、福島県の

各地からやってきて田村

市や川内村の道路を走る

ことになります。通路に

なる道路周辺の環境悪化

も懸念されます。

# もうごめんだ 放射能

放射能焼却を考える都路・川内の会

田村市を東西に走る国道288号線のわきにベニヤ板一枚分の大きな看板が、焼却予定地をはさんで10枚たてられていた。3・11以降、毎月、大阪から福島支援に行き続けてきた労働者が見つね、住民の方と出会い、署名の訴えを運んで帰ってきた。被災地を忘れず、原発の犠牲をこれ以上住民に押しつけない為にできる事からしていきたいと思ひます。署名にご協力よろしく。

●燃やさない別の方法もある

(略) 燃やすことばかり考えるのではなく、安全な処理方法を考え実行するのが、今まで原発を推進してきた国や東電の責任です。(略)

環境省は地元住民への説明会で「事前調査や

建設は地元住民の御了承がいただけた場合」に行うとしています。しかし自らの言明に反して七月二十二日から事前調査を強行しています。地元住民の了承が得られていない現状では、事前調査も建設も行うべきではありません。(以上)

## 戦争と改憲、民営化と解雇自由に突き進む安倍政権との闘いを

# 10・17 関西国鉄集会へ!

9・11郡山闘争で情勢は一変した!  
外注化・民営化を阻止する労働者の  
総決起を職場からつくり出そう!

9・11郡山工場包囲の闘いで情勢は一変しました。外注化を止め、被曝労働を阻止する労働者の総決起が始まったのです。それは新自由主義によって労働者から奪ってきたものをすべて奪い返す闘いの始まりです。

JR郡山総合車両センター(郡山工場)をはじめとするJRの10-1外注化の闘いは、階級闘争の最大の焦点となりました。動労千葉は外注化絶対反対を貫くストライキを、外注先の労働者と一体となって打ち抜こうとしています。9・11闘争を闘った郡山では、闘いに追い詰められたJR資本と国鉄本部の制約を突き破り、JR体制を打倒する本物の団結が生まれ、10・1外注化を迎え撃つとして



全国から650名が集結し国鉄郡山工場支店の橋本さんを先頭に工場包囲のデモ行進

何よりも、闘うJR青年労働者の決起が労働者階級の怒りの最先鋒で始まっています。動労千葉・動労水戸・動労総連合の青年労働者が「自分たちが外注化攻撃を止めよう!」と決起を始めています。それは生きることも、働くことも奪われてきたすべての青年労働者の怒りそのものです。闘う労働組合を今こそ勝ちよう! 9・11郡山闘争で、新自由主義を打ち破り時代を切り開く労働組合が登場しました。労働組合が闘えば勝てる! 労働組合が絶対反対を立てば外注化も戦争も止められる! 社会を変えられる! 外注化・民営化を阻止をかけて、10・17関西国鉄集会に職場から集まろう! 11・12全国労働者集会(東京・日比谷野音 正午)に総決起しよう!

国鉄1047名解雇撤回! 戦争と民営化を許すな!

### 10・17 関西国鉄集会

とき 10月17日(金)午後6時30分開場  
ところ 大阪市港区民センター

JR 地下鉄(弁天町)駅徒歩10分  
アピール 田中康宏・動労千葉委員長

主催 国鉄闘争全国運動関西連合会  
(連絡先) 全国金属機械労働組合連合会  
大阪市港区南市町3-1-26  
TEL 06-6553-1485B



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!